

目次

1面

もっとも危険な段階に進む国会内外の改憲状況
発議阻止のため為しうる限りの大衆行動を！

大山 歩

2面～3面

労働者通信

女性労働者の今を結ぶ —— 国際婦人デー3・5東京集会を前に

JALの不当解雇撤回闘争に展望

鈴木圭子（JAL被解雇者労働組合 副委員長）

「おじさん」たちの大きな独り言

田代ゆき（新聞労働者）

今のままでいいわけじゃないけれど

鶴井なつ（公立幼稚園教員）

ぶ厚い手紙

吉田晶子（精神保健福祉士）

現場からジェンダー平等めざす行動を

中原純子（全労協女性委員会代表幹事）

『はんかく・女塾』を始めました。

黒田節子（はんかく・女塾）

わたしのコロナ療養記

友田幸枝（松戸市在住）

2022国際婦人デー3・5 東京集会

紹介

『誰がこの子らを救うのか 沖縄——貧困と虐待の現場から』（山内優子著）

沖縄の子どもの貧困の実態を知ろう

青木初子（沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック）

前照灯

流行語では困る

4面

打ち棄てられる島々

「復帰」50年で加速する戦争準備と沖縄支配

清水早子（ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会）

連載 2022 沖縄からのレポート ③

名護市長選から市長の不正暴く闘いへ

金治明（ゴーゴー洋平！ 名護市民の会代表）

5面

日米安保体制への怒りの闘い

第四次嘉手納基地爆音差止訴訟提訴

池宮城紀夫（第四次嘉手納基地爆音差止等訴訟 弁護団長）

ヘイトスピーチに関する考察

二二年名護市長選挙と沖縄を取り巻く状況をも踏まえて

白充（弁護士・沖縄県在住）

〈参考〉沖縄へのヘイトスピーチ

『沖縄タイムス』の報道より

編集部

6面

朝鮮学校と文集『天の川』

朝鮮学校の生徒さんと合同文集を発行してきて

佐藤天啓（合同文集『天の川』発行委員会 編集長）

朝鮮学校生徒の沖縄修学旅行

沖縄の歴史と現在を知り朝鮮の民族的課題を考える

夫才修（大阪朝鮮中高級学校高三学年主任）

7面

JAL争議の全面解決をめざす東京集会

闘いが新たな局面を作る

村上理恵子

コロナ禍による医療崩壊にいかに向かうか

労働者がみずからの持場で闘うしかない

岡本茂樹

俳句

豊里友行

8面

緊急声明

佐渡鉱山世界遺産登録問題によせて（二〇二二年一月二十五日）

日本政府は戦時の朝鮮人強制労働を否定するのではなく認知すべきである

庵途由香・飛田雄一（強制動員真相究明ネットワーク共同代表）

放射能汚染と向かい合うための基礎知識（30）

環境への放射能放出と汚染の拡大⑤

今 中 哲 二（京都大学複合原子力科学研究所研究員）

世界平和評議会声明
ウクライナ危機の本質はなにか
NATOの侵略的拡大が引き起こした事態

9面

キューバ革命政府声明
米国による犯罪的な対キューバ経済封鎖の公式発表から六〇年

国際短信 世界のいま
〈アメリカ〉大規模ストが続く米国労働運動

編集部

〈韓国〉韓国大統領選の状況と全国民衆行動の出帆

土松克典

10面～11面

独立の民族として
日本の民主主義革命は外から来たが、われわれはそれを内で生かさねばならぬ
なかの しげはる

中野重治 人と仕事

伊藤龍哉

「独立の民族として」（中野全集未収録作）を読む
負けた場所から出発する
「独立の民族として」と「五勺の酒」

竹内栄美子（明治大学教授）

「独立の民族として」発見の経緯

添田直人（葛飾区豊田正子研究会）

HOWSの講座案内

中野重治『むらぎも』を読む

12面

紙つぶて
安里ミ ゲルの詩「ふきつだね」の通りだね

花井吉宅（茨城県在住）

極東勤労者大会の小特集を読んで

土松克典（東京都在住）

頂門一針

戦争は、自然現象ではない

『国際主義』第四号の中国関連論文を読んで
新たな長征へと進み出た中国共産党

中野哲明

『国際主義』第4号（2021年12月発行）

催物案内

編集部発

付録1面～4面

HOWS講座報告

社会主義「新発展段階」へ権威付け
中国共産党「歴史決議」の読み方

岡田充（共同通信客員編集委員）

「アメリカ合衆国・NATO・EUとロシアとの対立」
スペイン共産党の決議に関するギリシャ共産党中央委員会国際関係部の公開書簡

「グリーン」で「デジタル」な資本主義の野蛮
本当の解決策は社会主義である
ディミトリス・コーツォンパス（ギリシャ共産党中央委員会書記長）